

防波堤の耐津波設計ガイドライン・フォローアップWG(第1回)

議 事 概 要

日時:平成 27 年 9 月 4 日(金)

15:00~17:00

場所:中央合同庁舎第 7 号館 西館 金融庁 1320 会議室

議題1 現行ガイドラインの概要

事務局より、本WGの目的及び現行ガイドラインの概要について説明を行った。

議題2 ガイドライン改訂の方向性

事務局より、ガイドライン改訂の方向性について説明を行った。各委員からの主な意見は以下のとおりである。

- 設計事例を記載する際は、粘り強い構造の設計の考え方、検討の過程が分かるように、記載内容を工夫すること。
- 技術開発の現状の知見に関し、被覆工に関する技術資料を追記する必要がある。
- 防波堤の粘り強い構造に資する民間企業等の公募技術に関しては、工法種別ごとに上部工の工夫、腹付工の工夫、被覆工の工夫など分類して記載した方が良い。
- 港湾の施設の耐津波設計全般に関しては、本WGの検討対象とせず、並行して検討を進めている港湾技術基準改訂の検討対象とすれば良い。